



地域に愛され、選ばれる保育園づくりを目指します！

問

見て！聞いて！！私是怎么いう人間！プライベート質

好きな言葉：出会いは大切に！！思いやりありのまま

求めるリーダー像：〇気づきがあり謙虚な人〇何事にもクエスチョンを持ち前向きな人〇一人ひとり違う。ありのままを受け入れ尊重できる人〇組織として会社、職員、全体を考える事ができる人

オフの過ごし方：特に決まっていませんが…一人の時は掃除、洗濯、パズル(2,000ピース)全然進まない…汗

最近ハマっていること：香りの良い入浴剤やスクラブマッサージ

(香りに癒されています)

小さい頃どんな子どもだったか？：一言でいうとおてんば？スポーツが大好き少女でした。8人兄弟姉妹の五女♡きょうだいのなかでも唯一、姉、兄、妹、弟がいます。

保

育事業部に関すること

なぜ保育士になろうと思ったか？

シンプルに子どもが大好きだからです♡

エルサーブに転職したきっかけ

保育園、学童などたくさん子どもたちに

携わり色々学ばせて頂いた前職に感謝

しつつ、大好きな子ども達の為に違う形で何かできないか？と次のステップを模索している時に、エルサーブの堤社長と出会い『全ての人々が輝けるステージ(居場所)を創り続ける』という御社の経営理念に共感して転職しチャレンジすることを選びました。

保育事業部の今後の展望(短期、中期、長期目標)

今後の展望として(短期的目標)エルサーブ保育事業部の黒字持続。(中期的目標)職員育成と働きやすい職場。(長期的目標)選ばれる保育園を目指します。職員一人ひとりが責任と自覚を持ち、楽しんで保育を展開できるような保育園にしたいですね。



保育士時代の面白エピソード

0歳児の担任をしている時に、お話が出来る様になった子に「こーせえんせー」と呼ばれ、それが「うんこせえんせ」「ゆうちよせえんせー」と成長と共に呼び名が変わっていました。また、2歳児の子に「先生待ってー」と言われたので、視線を合



株式会社エルサーブ保育事業部統括
エルキッズうらそえ保育園園長

しるま ゆうこ
城間 祐子

生年月日：19〇〇年5月3日生まれ

出身地：沖縄県うるま市石川

特技：気持ちの切り替えが早い方(かなあ)

趣味：絶景探し 好きな食べ物：オムライス

どういった保育園づくりをしたいか

- 〇子ども達が真ん中の保育ができる保育園
- 〇職員一人ひとりのやりたい思いが叶う保育園
- 〇地域に愛される保育園



保育事業部の今期目標とその実現に向けたプランは？

どの保育園も定員いっぱいにする。そして、地域に根付いた保育園を目指します。そのためには、園内外の研修の充実を図り、姉妹園や他事業部との交流や意見交換を通して職員のスキルアップが必要だと考えます。また、株式会社エルサーブを企業新聞やHPでもっとアピールして行きたいです。

わせて「なあに？」と聞くと「良い子良い子」と小さな手で頭をなでてくれた事。子ども達の面白いエピソードは本当にたくさんありますね。私のドジなエピソードもいっぱい！今回は一つだけ…子ども達とどろんこ滑り台を楽しみ過ぎてズボンに穴が開いてるのに気付かなかった(その後のシャワーではお尻が痛かった～笑)

今回は保育事業部 統括 城間 祐子 様にお話を伺いました。次回は福祉事業部統括 清水 憲久 様にお話を伺います！



福祉のスペシャリストとして地域のニーズに合う施設づくりを目指します！

見て！聞いて！！私はこちら人間！プライベート質問

埼玉県指定



株式会社エルサーブ福祉事業部統括
しみず のりひさ
清水 憲久

生年月日：1967年10月30 日生まれ 趣味：ボランティア活動
出身地：生まれは神奈川県横浜市戸塚区育ちは埼玉県
好きな食べ物：うどん、フーチーパージュシー

好きな言葉：一念岩をも通す

求めるリーダー像：リーダーは、会社のビジョンを理解した上でチームの能力を最大限に引き出し、組織の目標達成へと導く重要な役割です。その役割を理解した上で、職員一人ひとりが成長しながら自発的に行動できるような生産性の高いチームを作れるよう、メンバーと話し合い、合意のもとで進める事ができるリーダーを求めています。

オフの過ごし方：休みの日は、NPO 法人わいわ工房のイベント運営や子ども食堂

フードパントリーといったボランティア活動に娘と参加して過ごしています

最近ハマっていること：この夏は、川遊びや日帰り BBQ などのアウトドア

特技：学生時代はサッカーをしており、少年団のコーチもしていたのでサッカー！

といたいところですが、最近は体が重くなり、特技とまでいえるものが無いです

小さい頃どんな子どもだったか？：物おしる事が無い性格で、勉強より読書や外で皆と遊ぶ ↑清水さん自慢のお子さんたち



事が好きでした。手のかからない子だった様です。小学校4年生から配達のパイトをして、お金を稼ぎ、サッカーのユニフォームやスパイクを購入するなどして社会経験を身につけていました。ちょっとしたエピソードですが、幼少時は歌手の本田美奈子さんと関りがあり、彼女の周りの男の子と将来結婚を争っていたそうです。

福祉事業部に関すること

福祉の仕事をしたかったキッカケ：学生時代に

青少年相談員というボランティア活動に参加し養護施設の子も違や知的障がい者入所施設の利用者と関わる機会がありました。活動を通して彼らの笑顔に癒され、福祉関係の仕事をしたと考えるようになりました。エルサーブに転職したキッカケ：前職は、主に知的障がいの入所施設などを経営する社会福祉法人で30年勤めていました。入所施設の指導員、生活支援員、サービス管理



←作業中の様子。皆で力を合わせて運んでいます

責任者、相談支援専門員など様々な職種を経験しながら、法人の理事として経営にも携わってきました。その法人が、52歳定年制を導入しており、役職定年を迎えるにあたり、セカンドキャリアを考えていたところ、エルサーブに関わる機会があり、働いている職員の皆様のご利用者に寄り添う支援に共感してこの会社の一助になればと考え転職を決意しました。どうい

う施設づくりをしたいですか？：エルサーブには『全ての人が、輝けるステージ(居場所)を創り続けます』という企業理念があります。この企業理念は弊社サービスをご利用いただくお客様と共に働くスタッフ皆さんに対して当社が最も大切にしている考えを表しています。この



←楽しそうな共同作業の雰囲気です

理念に基づき、施設をご利用するお客様やその家族だけではなく、スタッフや施設に関わるすべての方が輝ける施設づくりを目指していきたいと考えています。

福祉事業部の今期目標とその実現に向けたプランは？：福祉事業部のサービスの

質の更なる向上を目指します。福祉の専門職として一人ひとりが自覚をもって行動できるように研修体制の充実や相談しやすい環境を作っていきます。福祉事業部の今後の展望(短期、中期、長期目標)：福祉事業は、公益性の高い部門です。今後も一定数の需要は確保できますが、多職種参入により、需要供給のバランスは、地域によって差が生じています。やり方次第でまだまだ成長出来る部門だと捉えています。(短期)現在運営している事業の土台強化。環境や体制を整理し働きやすい環境づくりをすすめていく(中期)人材の育成。この事業の最大の宝は社員の皆さんだと考えています。社員一人ひとりが専門職としての自覚を持ち、キャリアアップできる研修の充実を図る事(長期)各市町村が作成する市町村障がい者計画等を確認しつつ、地域のニーズを捉えて事業の維持、拡大を目指します。

長い間、福祉の仕事をしてきた関係で 印象深いエピソード to 福祉
様々な印象深い出会いがありました。何か一つと言われれば、相談支援で父親が高次脳機能障がい本人だけでなく、家族支援も行っていたケースです。障がいのある父親と祖母、男子中学生の3人家族。引きこもり気味で父親も世話をしている孫が心配だと生前の祖母から相談を受けていました。子どもは支援対象外でしたが、ヤングケアラーの課題もあるケースでした。父親の世話に加え昼夜逆転の生活で学校にいけない日々が続きました。関係機関と連携し支援を行うも効果的な支援策が見つからない日々。子どもとの面談を繰り返した結果、環境に慣れるまで私が就業前に通学サポートを行い生活改善をしていく必要があると自分の中で結論に至りました。3カ月間出勤前に彼の自宅へ行き、学校へ送り届けるという生活を送り生活の改善も見られ、高校も合格し、自分で学校に行けるようになりました。彼の卒業式でぶっきらぼうに言われた「ありがとう」の言葉には感慨深いものがありました。子ども一人の輝けるステージを守る事ができたと思っています

今回は福祉事業部統括 清水 憲久 様にお話を伺いました。次回は放課後デイサービス事業についてお届けいたします！